



住みよい町づくりへ
議会と住民をつなぐ

第**40**号
平成21年1月21日

河津町議会だより



大噴湯と成人式

主な内容

- 新年のごあいさつ..... 2 P
- 町長の行政報告..... 3 P
- 平成20年第4回定例会（要旨）..... 4 P
- 一般質問..... 5～8 P
- 研修会報告..... 9 P
- 議会の動き、私も一言..... 10 P



あけましておめでとうございます
本年もよろしくおねがい申し上げます

2009年 元旦



年頭の挨拶

河津町議会議長 相馬宏行

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては平成21年の新春をお健やかに迎えのことと存じます。

日頃は町議会の活動に対し、ご指導ご協力を賜りまして心より感謝申し上げます。

9月定例会において議会議長の要職に就任させて頂きました。新体制のもとで皆様の負託に応えられる様誠心誠意努力する所存であります。

近年の社会情勢、経済情勢は激動の一途を辿っており、これに対応する行政需要も複雑多様化しており、町を取り巻く環境は誠に厳しく感じられます。この様な状況下でも、早春には、峰温泉大噴湯公園の完成、開園。オール電化、ドライ方式を採用した学校給食センターの落成が予定され、本年も将来に向けた環境整備が予定されております。また本年は、南伊豆地区1市3町の合併問題が一番大きな課題となる年であります。ご承知の様に、電算統合に係る経費予算の、松崎町と南伊豆町の修正や、地域自治組織の諸問題など各市町の温度差が非常に感じられ、合併の方向性が見開けない状況であります。

議会としましても、調査研究し、議論をすすめるとともに、議会だより等を通し町民の皆様にしつかりと情報開示をすすめたいと考えますので、町民の皆様へのさらなるご指導とご協力を頂くことをお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成20年 第4回定例会

(要旨)
12月9日、10日

町長の行政報告



●平成21年度予算編成

南伊豆地区1市3町の合併を見据え、総合計画に沿った事業の重点実施を行うため、限りある財源の効果的、効率的な配分を行い、施策、事業を厳しく精査していく。

●南伊豆地区1市3町合併協議会

事務所の位置は、下田市役所を本庁、3町の役場を総合支所方式による支所とする。地域自治組織の取り扱いは継続協議となっている。本町としての方向性を示しながら関係市町と慎重かつ十分な協議を進めたい。

●町政施行50周年記念事業

町政施行50年が経過し、11月3日に表彰式とあわせ、河津桜記念植樹と前宮城県知事の浅野史郎氏の記念講演を開催し、150余名の出席を得た。

●消防ポンプ自動車購入

第4分団の消防ポンプ自動車が18年を経過し、1,774万5千円で(株)畠山ポンプ製作所(沼津市)と購入契約をした。

●地域防災訓練

12月7日に地域防災訓練を実施、中学生123名、高校生169名を含む2,358名が参加。

●戸籍の電算化

全国で76%の市区町村が実施済み。戸籍事務の正確性と効率性を図り、戸籍謄本等の迅速な

発行、待ち時間の短縮の面から、戸籍の電算化に取り組む。

●敬老行事

9月の敬老の日前後に各地区で開催、663人の参加を得た。

●共立湊病院関係

共立湊病院改革推進委員会に「新病院建設に関すること」、「救急医療に関すること」等が諮問され、新築移転候補地は下田南高跡地、病床は150床規模とし、建設費用は極力抑え、23年3月までに竣工する。救急医療体制は、賀茂医師会の協力を得て夜間診療体制を構築することなどの答申である。

●森林・林業関係事業

森林の適正な機能を回復するため、間伐事業中心に森林整備に取り組んでおり、本年度事業規模は間伐が33.7ha、植栽で0.78haを計画している。

●見高入谷地域活性化事業

本年度の入浴利用者は、11月末現在7,274人。宿泊棟整備については1月に発注予定。

●9月以降の観光振興事業

10月23日に東京の飯田橋で、10月29日～11月11日JR大宮駅で誘客宣伝、11月2、3日は渋谷の代々木公園での区民の広場で地場産品販売、誘客宣伝を実施。天城路もみじまつりは11月10日～30日の間実施した。

●(株)河津バガテル公園

11月末の公園の入園状況は84,666人、前年比77%、国民宿舎かわづの利用状況は5,796人、前年比92%、七滝観光センターは10月より指定管理者の指定を受け2ヶ月で844万円の売り上げであった。

●観光施設整備事業

河津桜植樹帯整備工事は、(有)

加畑組と894万6千円で契約した。峰温泉大噴湯公園整備事業は11月末現在75%の進捗である。

●商工関係

緊急経済対策として、商工会が実施している「桜ちゃん商品券」のプレミアム付商品券の発行を例年の10倍の規模で行い、町内での消費拡大を目的に計画した。

●農林業関係事業

見高入谷地区石ヶ碓の荒廃水路改修工事は554万4千円で山内組と、梨本地区釜滝の用水路の崩落土砂対策工事は154万8,750円で(株)大塩組と契約した。

●道路橋梁維持事業

梨本地区上条の舗装補修工事は404万2,500円で世紀東急工業(株)、沢田地区石橋の舗装補修工事は、393万7,500円で丸三工業(株)と契約。川横地区川久保つり橋ワイヤーロープ張替工事については、112万3,500円で(株)大塩組と契約した。

●水道事業

泉奥原地区の豊富な水量を有効活用し安全で安定した給水に努め経営の安定を図るため、今後の財政計画と水道施設改修計画を策定する。

●河津町学校給食センター整備事業

食器類や什器などの購入について、1,617万円で東静調理機(株)が落札した。給食費は平成6年から据え置きだったが、来年4月から幼稚園、小学校は月300円、中学校は400円の値上げをし、給食を運営する。

●静岡県市町村対抗駅伝競走大会

12月6日に開催され、町の部で18チーム中9位と立派な成績をおさめた。

平成20年 第4回定例会 条例の制定・改正及び補正予算など

●諮問第1号

人権擁護委員の推薦について
見高（入谷）1269番地の115
土屋一義氏（再任）に同意。

●議案第82号

教育委員会委員の任命につ
いて

下佐ヶ野132番地の2
榎本良治氏（新任）に同意。

●議案第83号

河津町職員の公益法人等への
派遣等に関する条例の一部を
改正する条例について
条例の題名の一部改正

●議案第84号

河津町国民健康保険条例の一
部を改正する条例について
出産育児一時金の支給額を
350,000円から380,000円に条
文を改正。

●議案第85号

河津町管住宅管理条例の一部
を改正する条例について
条文の一部改正するもの。

●議案第86号

指定金融機関の指定変更につ
いて
平成21年4月より平成24年3
月まで、「伊豆太陽農業協同組
合」を変更して「三島信用金庫」
を指定。



完成間近の河津町学校給食センター

●議案第87号

平成20年度河津町学校給食セ
ンター厨房什器等購入契約に
ついて

16,170千円で東静調理機(株)
(三島市)と物品購入契約。

●議案第88号

平成20年度河津町一般会計補
正予算（第5号）

歳入歳出予算の総額に13,307
千円を追加し、総額をそれぞれ
4,173,026千円とする。

●議案第89号

平成20年度河津町国民健康保
険特別会計補正予算（第3号）

歳入歳出予算の総額に42,800
千円を追加し、総額をそれぞれ
1,260,531千円とする。

●議案第90号

平成20年度河津町介護保険特
別会計補正予算（第2号）

歳入歳出予算の総額に1,047千
円を追加し、総額をそれぞれ
661,927千円とする。

●議案第91号

平成20年度河津町国民宿舎「か
わづ」運営事業特別会計補正
予算（第2号）

歳入歳出予算の総額に538千
円を追加し、総額をそれぞれ9,280
千円とする。



●議案第92号

平成20年度河津町水道事業会
計補正予算（第3号）

資本的収入を27,000千円減額
し総額を46,800千円とし、資本
的支出を17,700千円減額、総額
を107,634千円とする。浄水場改
築工事実施設計業務を今年度取
り止める。

選挙管理委員の選挙

●選挙第8号

選挙管理委員選挙

土屋敬逸氏、鳥澤茂正氏、
古山由和氏、高川千里氏、
が当選人となる。

●選挙第9号

選挙管理委員補充員選挙

第一順位 中村友美氏
第二順位 近藤信一氏
第三順位 稲葉 競氏
第四順位 杉山忠一氏
が当選人となる。

発議による意見書

●三島社会保険病院・介護老人
保健施設の公的施設として存
続を求める意見書

●介護療養病床廃止中止を求め
る意見書

●伊豆縦貫自動車道の建設促進
に関する意見書

一般質問

「有機農法栽培の町」宣言は 町長—有機栽培農家が少ない

質問...食の安心、安全な町づく
り、又、農業経験者による農業
希望者への栽培指導など、江東
区、渋谷区との文化交流により、
観光につながるのではないかと。
町長...農地の3割が休耕田、林
業、漁業も厳しい環境下で、有
機栽培農家も少なく、検討の段
階だ。観光交流については、渋
谷区の老人会が、1,000人くらい
国民宿舎で交流の話があり、江
東区からは宿泊の契約はないが、
観光宣伝の協力をもらっている。
質問...有機農法については町の
指導力で実施すべきだ。観光宣
伝も大切だが、文化交流なが
ら観光につながる事が幅広い効
果を生む。天城の木材を使用した
建築推進を図り、建築者への
税の減免措置による建築の増進
を進めたらどうか。

町長...有機農法は下から盛り上
げる雰囲気づくりが必要だ。文
化交流などは老人団体の交流に
より、次の段階へ発展してゆく
のでは。天城木材の建築には木
材の乾燥機の設置という大きな
課題がある。

質問...乾燥機がなくても製品が
あり住宅政策は必要だ。減税に
よる建築増は活性化に繋がる。
観光交流だけでなく、行政の幅
広い交流による町民全体の取組



昔遊び体験・正月飾りづくり（ひだまりの会、西小体育館）

がよいのでは。

町長...交流は一つひとつの盛り
上がりで、自然体で行く事がよ
い。木材単価を安くしないと無
理だ。減税は考えていない。

質問...町民の要望は活性化だ、
建築住宅を増やせば多くの関係
業者が潤う。両区の交流も縦割
り行政ではなく、総合的な企画
の協議を進めることではないか。

少子高齢化対策を どう考えるか

町長—結婚してもらう ことが原点

質問...少子高齢化対策をどのよ
うに考えているか。

町長...国全体の問題であり、当
町も高齢化率32%弱、少子化率
11%で未婚者が多く結婚対策が
必要だ。高齢化対策は福祉の面
で予算化が大きな課題である。

質問...生きがい、安全、安心で
快適に暮らせる町づくりが大切
で、敬老会にも障害のある方は
行きたくても行けない、この方
達へのお祝いも必要ではないか。
又、子どもの給食費も3人目か
らは無料化したらどうか。

町長...給食センター建設や賄い
の人員費は町負担で、父兄は食
材費のみであり、値上げを検討



土屋桑太郎 議員

している。敬老会へ参加できな
い方へのお祝いは無理である。

市町合併について

町長—1町では出来な い事業を進める

質問...市町合併は、町民ありき
の上で、責任ある判断で合併を
進めるべきだ。2000項目の調整
課題は先送りすべきではなく、
職員、各種委員の意見を集約す
べきだ。現在の課長にまかせ、
職員の勤奨退職制度を廃止して、
退職年齢の引上げをすべきだ。
町長...今、合併協議の最中だ。
1町ではできない医療が問題だ。
退職延長は考えていない。

質問...合併は病院だけではなく、
2000項目の調整を、各種委員の
意見を聞いて合併協議会に町の
姿勢を示し、解決して合併する
べきだ。

町長...医療は1市5町の力がな
いと出来ない。県、国の力を借
りて実行したい。合併は委員や
議会の代表者で諸問題を審議し
ているが、当町としては自治組
織がよいのでは。

質問...自治組織で以前、合併が
破綻しており調整が難しい。

町長...地域自治組織での合併を
1市3町で了解している。自治
組織の立ち上げが当町としての
合併の条件である。

峰大噴湯公園事業は

町長—下峰区に指定管理をお願いしたい。

質問...この事業については、6月30日入札を行い、工事も年内完成に向けて順調に進捗していると思われるが、まさに町のシンボルとして、観光的にも注目をされている事業である。基本方針としては、地域住民と行政が一体となり、整備していく方針が答申された。完成後のこの施設の指定管理は。

町長...施設の指定管理は2月1日より、下峰区をお願いしたいという方向で進んでいる。維持管理費的なことは、今後の課題になる。

産業振興課長...指定管理等については、この公園は峰だけのものではなく、河津町あるいは、伊豆全体の観光の誘客に寄与するものとする。管理等の補助的なものは、他の施設との調整

河津川の水質環境保全について

町長—水質は大変良好である

質問...河津川の水質状況の水質検査は。その結果は。

町長...河津川の水質検査は、4地点で毎年行っている。水質は良好で検査を通っている。

質問...合併浄化槽の申請状況は。
町長...設置替えの補助率を今年

をしながら、考えたい。

質問...次年度以降の大型バスの駐車場、周辺整備、看板等は。

町長...バスの駐車場については、今のところ考えていない。今後のお客の動向を見た中で考えていきたい。周辺整備については、地域の皆さんと全体計画を立てながら、又看板は現物支給で、遊歩道整備は観光予算で実施の予定。

より割増し全体をレベルアップすべく取り組んでいる。

質問...河津川の放流事業、県鮎釣り大会について

町長...来年、鮎釣り大会は町としても大会を成功させるべく応援する。また、毎年300万円くらい河津川漁協に補助金を出している。来年はプラスして大会補助金を出す予定だ。

保健福祉課長...河津川の水質については、4ヶ所で年4回検査、河津川はAAに近いAランク。(AAランク～Dランク)

合併浄化槽の件ですが、以前は年間10件くらいだが、現時点では倍以上の23件の設置替え。傾向としては大型化が進んでいる。

質問...河津川の護岸保全の維持管理は。



吉田重好 議員

建設課長...5月に県と町で合同でパトロールを実施し構造物の点検、大雨後は随時パトロールを行なう。また、これからの工事の特徴としては、濁り水などを、できるだけ出さない、環境に配慮した工法を採用していく。

河津桜の保護、育成は

町長—技術指導も含め重要な課題

質問...100万人のお客様を維持するためにも、町内約8000本の河津桜を大切に、見直し、保護育成することが大事であると思うが、その考えから県農業試験場などの職員も含め河津桜サミット。意見交換の考えは。

町長...保護、育成、管理の具体的な行動には至っていない。河津桜の苗が人気を博しているが原木に近い苗を作ることが大変重要な課題である。県の技術指導も含め検討をしたい。河津川堤防沿いの河津桜については、堤防の保全、保護の面から、下田土木事務所、区長で委員会を立ち上げ、検討中。

質問...正月桜の育成、また遅く咲く河津桜の育成の計画は。

産業振興課長...正月桜は今年3月卒業のとき小学生に60本記念樹として贈っている。現在60本圃場に植栽してある。今後の成育の状況を見ながら、良い木を探しながら、増殖していく計画。



峰温泉大噴湯公園

新年度予算編成の基本的取り組みは！

町長—町民の視点に立った行政需要への的確な対応と行財政運営の合理化、効率化を！

質問...平成21年度予算編成に当り、現在1市3町の合併問題が佳境に入っているなかで、町民のためどのような予算を目指すか伺う。

町長...河津町も1市3町の合併問題が一番大きく、来年度予算関係には影響する。3年、4年先の予算は組めない。継続事業と、地域の道路関係等が主になる。

質問...町の施策、政策の中で、商工、観光の目玉振興策を考えているか。又観光整備事業については今年度中終了するものが多いが来年度のプロジェクトをどのように考えているか。

町長...継続的なものとしては、見高の農免道路、21年度中完成を目指す負担金の計上も必要。田中バイパス道路。役場前から峰への道路。観光施策の中での観光交流館の建設。又地元要望から来の宮神社のトイレについては、観光整備費での新設。水道整備での奥原水源の活用。町道泉原線約60mの改良工事。町道の初景橋から約270mの工事を2年間継続で考えている。又国道414号線逆川から峰山トンネルまでが、21年度中で事業が一区切りする。



早期完成を目指す農免道路(長野地区国道への取り付け)

質問...観光交流館は21年度建設計画だが進捗状況はどうか。又観光予算の総額はどのくらいか。

産業振興課長...現在設計を進めて佳境に近づいている。管理、運営を検討する準備会を立ち上げ最終的配置、細部の設計に反映させたい。

町長...費用は2億数千円を予算計上する予定。観光予算については、伊豆急駅舎のエレベーター補助や来の宮神社トイレ等を含め、4億数千円を予定。

質問...農業、漁業の就業者数が減少の中、一次産業の活性化が必要。耕作放棄地等、荒廃農地調査結果と、海の資源づくりに自治体も取り組むと思うが考えを伺う。

町長...河津町の農業関係用地は約470haで、そのうち300haが青地であり、その30%弱が耕作放棄地。漁業の総水揚げ高は年間数億円と思う。町はアワビの放流はやっているが、漁礁等の支援策も大事。放流費等ふやすべきと思う。

産業振興課長...遊休農地の活用は利用権の設定等の促進事業を行いながら有効利用、遊休農地



萩原清男 議員

の減少を図りたい。

質問...町の事業推進には補助金制度は大事と思うが、交付に当てて定義、基準等があるのか。新規事業に対する補助金申請方法は。又監査はどのように行われているのか。

総務課長...補助基準は団体については今までの大体の基本額があり新しく事業を起こす場合は加味した中で決定。個人に対しては要綱に基づいて補助。補助金申請は各担当課長が内容確認、実績も領収書等必要書類の点検で補助を出す。新規は、事業内容により決定。

遊歩道を含む観光施設の有効利用を

産業振興課長—観光交流館新設と併せて

質問...整備された観光施設、各遊歩道等の実態を調査し、観光協会、商工会等と連携して活用すべきと考えるが。

産業振興課長...各施設が連携されて機能しているとなると、まだかと思う。観光交流館をつくっていく中で点である物を線としてつなげ、町と商工、観光、農林漁業、又民と地域と連携。そのもととなるのが観光交流館の使命と思う。その観点で今後進めたい。

安心安全な町づくりについて

町長－新共立湊病院は下田南高跡地へ

質問...共立湊病院は、平成9年10月より国からの譲渡を受け、地元7市町村により共立湊病院として開院し、指定管理制度の発足に伴い、社団法人地域医療協会に委託し、順調に経営がなされて来たが、運営の変化に伴い病院経営改革委員会が設置され、検討の結果、新病院建設を下田南高跡地に第1の候補地として答申が出されたわけである。県の土地を簡単に地域医療のためとはいえず無償で借りる事が可能かどうか。

町長...要は県知事の考え一つで決まって行く、近々首長で県知事に無償貸与の要望に行く。

質問...病院建設について、新病院は、

150床規模で、総額22億円で、平成23年3月までに竣工を目指すとの事だが、費用と時間的に可能かどうか。

町長...各首長さんが一つになって行動に移すしかない、地域で救急業務を頼るのは共立病院しかない、一日も早く充実させ安心安全な医療体制をつくり上げるのが、我々に課せられた大きな課題だ、近々首長さんで県にお願いに行く。



共立湊病院

大鍋地内 地滑り対策について

建設課長－県で調査中

質問...大鍋地内ミネハタ山の地滑り対策だが、この地域は過去にも大きな地滑りを起こしているわけで、下には数軒の人家、ワサビ沢等農地がある。先日の防災訓練も孤立化を想定した訓練を実施したわけで、この地域の地滑り対策をどのような形でとらえているか。

建設課長...現在賀茂農林事務所の治山課で県営事業として復旧可能かどうか現地調査を実施し、採択可能かどうか調査検討中で、近々連絡がくる事になっている。

住宅火災警報器について

総務課長－ 生命財産守るため 検討中

質問...住宅用火災警報器の設置について、21年5月末日までに警報器の設置が義務づけられた。警報器の設置戸数と社会的弱者に対し助成する考えは。

総務課長...設置に対するチラシを1回回覧してある。補助金については、県下でまだ助成している市町は少ないようで、現時点では、検討中。

質問...町内で耐震診断した戸数は。

建設課長...耐震診断した戸数は、今年度、現在まで4軒。



稲葉 静 議員

河津七滝温泉の活性化は

町長－駐車場と遊歩道 整備で

質問...七滝温泉の活性化について、名峰天城山を源に深谷美にわく七滝温泉、日本経済の高度成長の波にのり、年間数十万人余の多くの来遊客に親しまれて来たわけであるが、近年めっきりと来遊客が減った感じがするが、現在の七滝の現実をどのようにとらえておられるか。

町長...駐車場が狭いと言う事で週末等は、渋滞している状況で、駐車場整備と七滝周辺の遊歩道整備を考えている。

質問...道路網の整備、天城山側から道路を入れる、そうする事により来遊客の増加が見込めると思うが。

町長...天城山側から道路を入れる事については、過去にも検討した事があるが、予算面、今後どれだけの投資効果があるか、慎重に検討する課題であると思う。

質問...七滝の滝周遊道のほとんどが、民地を利用している現状で、安心安全な観光地として発展するには、公共用地として整備する必要があるのではないかと。

町長...初景滝から釜滝の間の土地は、全部私の土地です。今現在無料で利用しているわけで、今後きちっと整備する必要がある。

議会視察研修レポート

新潟県上越市市町村合併（地域自治組織）研修

これからの河津町にとって、最重要課題である、南伊豆地区、1市3町による市町合併協議会が発足し、合併新法期限平成22年3月31日をめざしてスタートした。河津町の目ざす町づくり地域自治組織の視察研修を、11月13日～14日の2日間、新潟県上越市に議員全員の参加のもと行いました。上越市は、新潟県南西部に日本海に面して位置し、人口は平成17年1月1日現在208,082人です。市の面積は、973km²の市です。新上越市は、平成17年1月1日、14の市町村が各地区ごとに地域自治組織を設置し

合併、新上越市が誕生しました。今、南伊豆地区1市3町の合併、町の将来を決める重要な問題のまっただ中、こうした観点から、視察内容として、地域自治組織の概要、地域自治組織のタイプ、各地域の事業費の内容、地域自治組織の期間、議会の合併時の設置選挙の方法等についての、5点の質問内容を定め、視察研修を行いました。河津を早朝6時に出発し、中央高速、長野自動車道を経由して、視察地上越市に着いたのは、午後2時過ぎでした。

議会事務局職員と合併協議

当時担当された職員からたくさんの資料等をいただき、14市町村と言う大型合併をされた苦労話等の説明を受け、これから目ざす合併についての質問も多く出され、大変有意義な視察研修となりました。



上越市役所での視察研修

一部事務組合議会報告

東河環境センター議会研修

平成20年11月10日～11日と2日間、千葉県茂原市の長生郡市広域市町村圏組織の長生クリーンパークを視察研修いたしました。

エコクリーンセンター東河は平成29年の静岡県ごみ処理広域化計画までの過渡期対策の施設として建設され稼働から6年が過ぎました、し尿処理施設も含めて、今後の施設の維持管理のための公害対策、修繕、工事等に対して認識を深めるため、管理者の東伊豆町長、副管理者の河津町長と共に、組合議員6名

で長生クリーンパークの施設の概要、運営状況及び維持管理等の説明と当方の質問に対して回答を受け、施設内を案内して頂き見学を致しました。長生郡市広域市町村圏組合は茂原市を中心とした1市6町村で構成されており、ごみ処理と発電設備、温水供給設備を備え、し尿処理施設の脱水汚泥を焼却処理しており東河環境センターとの違いが見て取れ、今後のあり方について貴重な研修となりました。

共立湊病院組合議会

12月13日、共立湊病院組合議



千葉県長生市広域環境センターで研修

会の全員協議会が開かれ、新病院建設や救急医療の在り方などを検討した「共立湊病院改革推進委員会（専門家8名）」の答申について協議し、提言内容について大筋で合意する事を確認した。答申では平成23年3月までに旧下田南高校跡地を第一候補に新病院を建設する事を明示し病床数は現在の150床を前提に、建設費は1坪当たり60万円に抑え、150床規模で約22億円を見込んでいる。賀茂地区の中核病院として一次、二次救急医療体制の充実を目指す一方、賀茂医師会と連携した一次救急の夜間診療体制の構築も答申に盛り込まれている。一方、現在の病院跡地には新たに無床診療所を設置し高齢者に優しい福祉エリアとして活用するプランを示した。運営形態は現在の指定管理者制度による公設民営方式を維持する方針である。経営安定に向けた「常勤医師十人以上の確保」などを指定管理者の条件として設定されている。



相馬 宏行 議長

町議会議長の主な活動報告

- 9月22日 河津町交通安全対策委員会による街頭広報(伊豆急河津駅前)
- 9月30日 議会広報編集委員会
- 10月1日 河津町合併推進委員会
- 10月3日 南伊豆地区1市3町合併協議会小委員会
- 10月5日 河津町民体育大会
- 10月7日 公共施設整備計画推進委員会(第一、第二常任委員長と)
- 10月8日 南伊豆地区1市3町合併協議会
- 10月15日 郡議長会(下田市)
- 10月16日 議員月例会
- 10月20日 静岡県町村議会議長会定期総会(静岡市)
- 10月22日 平成20年度伊豆柑橘振興協議会総会
- 10月26日 河津町ふれあい祭り(笹原駐車場)
- 10月30日 郡町議会議員研修会
- 11月3日 河津町町制施行50周年記念式典及び河津町表彰式(バガテル公園)
- 11月4日 南伊豆地区1市3町合併協議会小委員会、同日、議会広報編集委員研修会
- 11月5日 河津町合併推進委員会
- 11月8日 平成20年度静岡県消防大会、副議長が出席(下田市)
- 11月8日～9日 国民文化祭視察

- (茨城県潮来市他2市)
- 11月9日 南伊豆地区1市3町合併協議会市町長及び議長懇談会(下田市)
- 11月11日 河津町戦没者招魂祭
- 11月12日 南伊豆地区1市3町合併協議会
- 11月13日～14日 河津町議会議員研修視察(新潟県上越市)
- 11月15日 下田市・賀茂地区出身の県職員の会「かも会」に出席(下田市)
- 11月16日 第4回伊豆の踊り子文学祭記念式典(湯ヶ野踊り子文学碑前)
- 11月17日 静岡県地方議員連絡協議会政策研修会、副議長と(静岡市)
- 11月18日 県町村議会議長会県外視察(東京都)
- 11月19日 全国町村議会議長会全国大会(東京都)
- 11月20日 平成20年度賀茂地区社会福祉大会(下田市)
- 11月25日 河津町社会福祉大会(保健福祉センター)
- 11月28日 県内水面漁業協同組合長会議及び研修会
- 11月30日 青少年の主張大会(保健福祉センター)
- 12月1日 議会全員協議会
- 12月2日 南伊豆地区1市3町合併協議会小委員会
- 12月3日 公共施設整備計画推進委員会、(第一、第二常任委員長と)
- 12月4日 議会運営委員会
- 12月5日 第9回静岡県市町村駅伝

- 競走大会開会式(静岡市)
- 12月6日 第9回静岡県市町村駅伝競走大会

～私も一言～

峰温泉大噴湯公園と河津桜まつり

いよいよ峰温泉大噴湯公園のオープンが間近にせまってきました。下峰区では、平成19年3月に検討委員会を立ち上げ、現在まで10数回の検討を重ねて来ました。従来より源泉は、町営の温泉集中管理に利用されてきましたが影響をおよぼさない範囲で1時間間隔で1分間、1日7回程度噴き上げ、80数余年休みなく噴き上げる地球の息吹を感じてもらおうこととしました。又噴湯=フントーということでフントー君というイメージキャラクターを全国公募し、キャラクターを前面に押し出した運営を考えました。大噴湯おみくじ、タオル等のグッズ販売を考えています。野菜や特産の花などの地場産品も販売する予定です。河津桜まつりが河津だけではなく伊豆全体の一大イベントとなり近隣地域に多くの経済的効果をもたらしているように「峰温泉大噴湯公園」も河津桜に続く観光資源となるよう下峰区としてもフントーしていきたいと思しますので町民の皆さんの応援をよろしくお願いします。

峰温泉大噴湯整備委員会

委員長 正木 信吾

編集後記

新春恒例の河津町消防団の出初め式が1月5日好天の中行われた。町の消防、防災を任う団員の規律ある姿と、河津川での放水に力強さを感じた。
2月7日からは河津桜まつりが始まる。町の最大イベントを町民一体で盛り上げて来遊客を喜ばせたい。
本年はうし年、ゆったりとした「うし」にも、いざと言う時は機敏性をもつ。1市3町の合併も本音を議論する時が来た。議会も腹をすえた議論が大切となる。町民本位の町づくりの合併を考えたい。町民も意見を寄せて欲しい。(萩原)